附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ學校組合又ハ學校組合聯合會ノ有給吏員トシテ在職スル者ノ在職年ノ計算ニ付テハ本令施行前ノ在職年ト雖モ其ノ引續キタル在職年ニ限リ之ヲ通算ス

（別記樣式省略）

訓　令

◎大藏省訓令第十四號

稅務監督局　稅務署

昭和十五年勅令第四百六十號第二條ノ規定ニ依ル地租免除ノ申請ヲ受ケタル場合ニ於テ同令第一條第四號乃至第六號ニ掲グル土地アルトキハ稅務署長ハ稅務監督局長ヲ經由シ大藏大臣ニ稟議スベシ

昭和十五年七月十九日

大藏大臣　櫻內　幸雄

（參照）

昭和十五年七月十九日勅令第四百六十號ハ宗教團體法第二十二條第二項ノ規定ニ依ル地租ノ免除ニ關スル件ナリ

告　示

◎內閣告示第九號

功三級勳三等以上ノ勳章ハ宮中關係ノ事項ニ付特ニ指示アリタル場合ヲ除クノ外常分ノ內時宜ニ依リ通常服（男子ハ「フロックコート」又ハ「モーニングコート」女子ハ「ローブモンタント」）ニ之ヲ佩用スルコトヲ妨ゲズ但シ頸飾又ハ大綬ヲ以テ佩ブル勳章ハ其ノ副章ヲ佩用スルモノトス

昭和十五年七月十九日

內閣總理大臣　米內　光政

◎內務省告示第六號

地方稅法施行令第六條ノ規定ニ依リ稅ヲ指定スルコト左ノ如シ但シ東京市、京都市、大阪市、橫濱市、神戶市及名古屋市ニ關スルモノヲ除ク

昭和十五年七月十九日

內務大臣　伯爵　兒玉　秀雄

大藏大臣　櫻內　幸雄

一　給仕人稅　料理店、飲食店、カフエー、バー其ノ他之ニ類スル場所ニ於テ客席ニ侍シ接待ヲ爲ス婦女ニ對シ其ノ從業地所在ノ市町村ニ於テ課スルモノ

二　俥人稅　專ラ家事ニ從事スル常傭人ヲ使用スル者ニ對シ其ノ使用地所在ノ市町村ニ於テ課スルモノ

三　入湯稅　旅館、料理店其ノ他ノ場所ニ於ケル鑛泉ニ入浴スル浴客ニ對シ其ノ浴場所在ノ市町村ニ於テ課スルモノ

四　鑛泉稅　旅館、料理店其ノ他ノ場所ニ於ケル鑛泉浴場ニ對シ其ノ浴場所在ノ市町村ニ於テ當該浴場ヲ有スル者ニ課スルモノ

◎內務省大藏省告示第七號

昭和十五年四月內務省大藏省告示第二號中左ノ通改正ス

昭和十五年七月十九日

內務大臣　伯爵　兒玉　秀雄

大藏大臣　櫻內　幸雄

「入湯稅」ノ次ニ「屠畜稅」及「給仕人稅」ヲ、「入湯稅割」ノ次ニ「屠畜稅割」及「給仕人稅割」ヲ加フ

（參照）

昭和十五年四月內務省大藏省告示第二號ハ地方稅法第三十五條ノ規定ニ依ル地方稅指定ノ件ナリ

◎文部省告示第五百十七號

千葉縣由武郡東金町ニ設置セル東金女子高等職業學校ノ設立者ヲ昭和十五年七月ヨリ高橋爲忠ニ變更ノ件昭和十五年七月十七日認可セリ

昭和十五年七月十九日

文部大臣　松浦鎭次郎

◎文部省告示第五百十八號

東京府東京市淺谷區紫藥町ニ設置セル東京市淺谷商業學校ノ位置ヲ昭和十五年七月一日ヨリ東京府東京市淺谷區長谷戶町ニ變更ノ件昭和十五年七月十七日認可セリ

昭和十五年七月十九日

文部大臣　松浦鎭次郎

◎農林省告示第三十號

昭和十四年十一月農林省告示第十七號中左ノ通改正ス

昭和十五年七月十九日

農林大臣　島田　俊雄

商工大臣　藤原銀次郎

末尾五以下ヲ左ノ如ク改ム

五　一乃至四ニ掲グル價格ハ水稻粳穀ノ價格トシ陸稻粳穀ノ最高販賣價格ハ一乃至四ノ價格ヨリ一石當一圓ヲ控除シタル額トス

六　政府ニ賣渡ス場合ニ於ケル最高販賣價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ二乃至五ニ掲ゲル價格ヲ除ク）ニ證券發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタル額トス

前項ノ金利ハ米穀需給調節特別會計法第四條ノ規定ニ依リ該證券ニ付政府ノ定ムル割引歩合トス

七　一乃至五ニ掲グル價格ハ道府縣、市町村、農會、產業組合又ハ部落團體ガ米穀生產者ニ對シ種子用トシテ穀ヲ販賣スル場合、米穀生產者ニ對シ種子用トシテ配給スル爲穀ヲ購入スル場合又ハ米穀生產者ノ爲ニ種子用穀ノ購入ノ斡旋ヲ爲ス場合ニハ其ノ穀ニ付之ヲ適用セズ

（參照）

昭和十四年七月農林省告示第十七號ハ內地米稻粳穀及內地陸稻粳穀ノ銘柄及最高販賣價格ノ件ナリ

◎農林省告示第三十一號

昭和十四年十一月農林省告示第十九號中左ノ通改正ス

昭和十五年七月十九日

農林大臣　島田　俊雄

商工大臣　藤原銀次郎

末尾三中「二及二」ヲ「一乃至三」ニ改メ三ヲ四トシ二ノ次ニ左ノ三ヲ加フ

三　政府ニ賣渡ス場合ニ於ケル最高販賣價格ハ當該道府縣產米ヲ賣渡ス場合ニ於テハ生米ヲ賣渡ス場合ニ於テハ移入道府縣ノ一ニ掲ゲル價格ニ一石當（二五〇匁當）五十錢ヲ加算シタル額トス

前項ノ最高販賣價格ハ政府ガ買入代價ヲ證券ヲ以テ交付スル場合ニ於テハ前項ノ額ニ證券發行ノ日ヨリ償還ノ日迄ノ金利ニ相當スル金額ヲ加算シタル額トス

前項ノ金利ハ米穀需給調節特別會計法第四條ノ規定ニ依リ該證券ニ付政府ノ定ムル割引歩合トス

（參照）

昭和十四年十一月農林省告示第十九號ハ內地糯精米ノ銘柄及最高販賣價格ノ件ナリ

◎商工省告示第三百七十號

東京府東京市麴町區丸ノ內三丁目八番地「ゼ、リバプール、エンド、ロンドン、エンド、グローブ、インシュランス、コンパニー、リミテッド」ハ昭和十四年八月三十一日限リ日本ニ於ケル火災及海上保險事業ヲ廢止シタル旨屆出アリタリ

昭和十五年七月十九日

商工大臣　藤原銀次郎

◎商工省告示第三百七十一號

東京府東京市麴町區丸ノ內三丁目八番地「ローヤル、インシュランス、コムパニー、リミテッド」ハ昭和十四年八月三十一日限リ日本ニ於ケル火災保險事業ヲ廢止シタル旨屆出アリタリ

昭和十五年七月十九日

商工大臣　藤原銀次郎

◎商工省告示第三百七十二號

倉庫營業左ノ通廢止セリ

昭和十五年七月十九日

商工大臣　藤原銀次郎

名稱	所在地	廢止年月日
土崎雄物川合同運送株式會社	秋田縣南秋田郡土崎港町壹騎町字鄕社通八十六番地	昭和十五年五月一日

◎商工省告示第三百七十三號

倉庫業法第一條ノ規定ニ依リ倉庫證券發行ノ件左ノ通許可セリ

昭和十五年七月十九日

商工大臣　藤原銀次郎

一名稱　佐久繭絲倉庫株式會社

一營業所ノ位置　長野縣北佐久郡岩村田町大字岩村田七百九十一番地

一倉庫ノ位置　長野縣北佐久郡岩村田町大字岩村田七百九十一番地

一保管スベキ物品ノ種類　繭、生絲

一許可ノ年月日　昭和十五年七月十六日

◎逓信省告示第千九百七十六號

左記私設無線電信無線電話ノ施設ノ目的ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

關係者名	施設場所	機器裝置
川口千代松	帆船拓新丸	
同	同第五拓新丸	

昭和九年十一逓信省告示第千八百二號

同十五年六同第千四百七十四號

施設ノ目的　無線電信法第一條第一號乃至第三號及第六號ニ依リ航行ノ安全、漁業事業、電報送受及漁獵ニ關スル通信ニ使用

◎逓信省告示第千九百七十七號

昭和十一年七逓信省告示第百號一航空料ノ表航空運送區間ノ部「日本國內地、臺灣又ハ日本國內地、朝鮮、臺灣、南洋群島ト滿洲國間」ノ欄中「中華民國」ヲ「及大連中華民國（北支那ヲ除ク）間」ヲ加ヘ本日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

（參照）

昭和十一年七月二逓信省告示第百號ハ本邦及滿洲國又ハ中華民國ノ航空郵便業務ニ依ル外國宛航空通信當郵便物ノ航空郵等ノ件ナリ

◎逓信省告示第千九百七十八號

東京府三宅島立三宅島燈臺ハ昭和十五年七月十日ヨリ之ガ燈質ヲ電燈トシ左記ノ通燭光數及光達距離ヲ變更セシ旨同府ヨリ報告アリタリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

三宅島燈臺	
一燈器及燈質	無等電燈不動白光
一燭光數	三、八〇〇
一光達距離	一四浬半
一其他	從前ノ通

◎逓信省告示第千九百七十九號

左記私設無線電信ノ空中線電力等ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

關係者名	施設場所	機器裝置
日本製鐵株式會社	汽船香椎丸	

昭和九年二逓信省告示第四百十七號

使用電波ノ型式及周波數

空中線電力	第一裝置	第二裝置
	二五〇「ワット」	
	A1 一二五	A2 三
	及一四三kc	一三六
	七五及五〇〇kc	四
	A1及A2六二一〇	
	八二八〇	
	四〇 一一四二〇	
	及一六五二〇kc	

◎逓信省告示第千九百八十號

左記私設無線電信ノ第二裝置ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

關係者名	施設場所	機器裝置
日本水產株式會社	汽船第二國南丸	

昭和十二年九逓信省告示第三千六百三十七號

使用電波ノ型式及周波數

第一裝置	第二裝置
A1六二一〇	八二
八〇 一一〇四〇	
一二四二〇及一	
六五六〇kc	

同年三月同第二千六百九十七號

同年三月同第三國南丸

◎逓信省告示第千九百八十一號

左記私設無線電信ノ第一裝置ノ使用電波ノ型式及周波數ヲ左ノ通變更ヲ許可セリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

關係者名	施設場所	機器裝置
日本水產株式會社	汽船鐵島丸	

昭和十二年十二逓信省告示第三千九百八十號

使用電波ノ型式及周波數

第一裝置	第二裝置
A1一二五	一三六
七五 四一〇	A2三
二五 四八〇	四
〇〇及一三六四kc	五

◎逓信省告示第千九百八十二號

滿洲國ニ於テ昭和十五年七月二十一日ヨリ奉天興亞會館內及八月一日ヨリ拉古哨各郵政局ヲ新設シ日滿郵便爲替及日滿郵便振替ノ取扱ヲ開始スル件昭和十四年九逓信省告示第二千七百六十四號日滿郵便爲替日滿郵便振替又ハ南滿洲鐵道附屬地行政權ノ移讓ニ伴フ本邦ノ委託事務ノ取扱ノ滿洲國郵政局所及其ノ取扱ノ事務種別中左ノ通改正ス

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

一　奉天省ノ部

奉天大官場ノ項ノ次ニ「奉天興亞會館內小通電振」ヲ加フ

二　安東省ノ部

長興河口ノ項ノ次ニ「拉古哨小通電振」ヲ加フ

◎逓信省告示第千九百八十三號

昭和五年七月逓信省告示第二百六十號ヲ以テ設置許可ニ係ル非公共用水上飛行場中島大井飛行場ハ昭和十五年一月二十九日限リ之ヲ廢止セリ

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

◎逓信省告示第千九百八十四號

昭和十五年四月逓信省告示第千五十一號歐洲戰亂ニ伴ヒ外國電信主管廳ニ於テ定メラレタル外國電報ノ取扱制限中左ノ通改正ス

昭和十五年七月十九日

逓信大臣　勝　正憲

歐羅巴地方ノ部「ソヴィエト聯邦ノ項第一號ロ中「國際通信書」ノ次ニ左ノ如ク加フ

アルファ、コード

ルドルフ、モッセ、コード

同部瑞典國ノ項第一號中「國際通信書」ノ次ニ左ノ如ク加フ

アルファ、コード

ゼネラル、テレグラフ、コード

ルドルフ、モッセ、コード

スコフィールド、セイフチェック、スリー、レター、コード、

ユニヴァーサル、トレード、コード

亞弗利加地方ノ部「モロッコ」ノ項ヲ左ノ如ク改ム

モロッコ

佛蘭西地帶局

私報ハ英吉利語、佛蘭西語、獨逸語、伊太利語、西班牙語、「ポーランド」語、「ポルトガル」語、「ロシア」語又ハ亞剌比亞語ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ要ス

西班牙局

一　電報ハ發信人ノ危險ニ於テノミ之ヲ取扱フ

二　電報ハ檢査ニ附セラル

第4060号
本文